

多摩川水系野川

Tamagawasuikei NOGAWA



After



Before

生き物と人が集う、
都市河川。

都市河川でありながら良好な自然環境を有しており、市民に親しまれている野川。河床（※1）整備にあたっては、生物の生息・生育・繁殖環境に配慮するとともに、親水空間を保全・創出するため高水敷（※2）の高さを低く、低水路（※3）幅を広くし、河積（※4）を確保することで、川の働きを許容する空間を確保しました。その結果、瀬や淵が多く形成されるなど多様な環境が再生。整備後も、メダカやフナ、シマドジョウ、エビ等の生物が確認され、良好な自然環境が維持されています。

※1 川底。

※2 常に水が流れる低水路より、一段高い部分の敷地。

※3 普段川の水が流れているところ。

※4 河川の横断面において水が流れる面積。



N35度38分1秒 E139度35分46秒
(35.634,139.596)